

《福岡県外国人技能実習生受入組合連絡協議会》 情報通信 第171号

今回のテーマ「臨時監査に関して技能実習制度運用要領の一部改正」について

2/18付けで技能実習制度運用要領の一部改正が発表になりました。

改正内容は下記の通りです。 <https://www.otit.go.jp/>

【改正箇所】第5章第2節第2(2) 臨時監査に関するもの 最終行目～

(傍線赤字部分は改正部分)

改正後	現行
<p>(2) 臨時監査に関するもの</p> <p>(略)</p> <p>○ この臨時の監査については、実習実施者が認定計画に従って技能実習を行わせていないなどの情報を得たときはもとより、実習実施者が不法就労者を雇用しているなど出入国関係法令に違反している疑いがあるとの情報を得たとき、実習実施者が技能実習生の労働災害を発生させたなど労働関係法令に違反している疑いがあるとの情報を得たときなどにも行うことが求められます。</p> <p><u>○ 特に、技能実習生に対する暴行、脅迫</u> <u>その他人権を侵害する行為が疑われる情報</u><u>を得た場合については、迅速かつ確実に臨時監査を実施する必要があります。</u> <u>また、臨時監査後、電話等により、その概要を直ちに実習実施者の住所地を管轄する機構の地方事務所・支所の指導課に連絡するとともに、当該監査の実施結果については、監査報告書によりとりまとめの上、速やかに同課に報告する必要があります。</u> <u>具体的には、監査報告書について、技能実習生の保護や早期の事案の解明が求められることから、臨時監査実施後、遅くとも2週間以内に報告することが求められます。</u></p>	<p>(2) 臨時監査に関するもの</p> <p>(略)</p> <p>○ この臨時の監査については、実習実施者が認定計画に従って技能実習を行わせていないなどの情報を得たときはもとより、実習実施者が不法就労者を雇用しているなど出入国関係法令に違反している疑いがあるとの情報を得たとき、実習実施者が技能実習生の労働災害を発生させたなど労働関係法令に違反している疑いがあるとの情報を得たときなどにも行うことが求められます。</p> <p><u>(新設)</u></p>